

自治会だより

「草」と「植物」と「お・す・き・な・ふ・く・は」



9月6日(日)に実施いたしました「秋の環境美化週間一斉清掃」にご参加くださいまして誠にありがとうございました。また、例年どおりこの清掃の前に諸葛川岸周辺の草刈りをしてくださった、「南牧野林地域諸葛川環境保全を考える会」の草刈り業務協力者の方々に感謝申し上げます。加えて、数日前から個人でこの周辺の草刈りを行っていただきました2班の藤澤孝則さんにも感謝いたします。清掃当日、藤澤さんにお礼の言葉をお掛けしましたら、藤澤さんは「私は刈っていない。草刈り機が刈った」とご謙遜されていました。他にも人知れず草を刈ったり除草剤を撒いたりしてくださった方もいらっしゃったことと思います。大変ありがとうございました。



さて、一斉清掃の数日前、前文教部長で5班の佐々木ノリ子さんが、国分下の橋袂に佇んでおられましたので声をお掛けしたところ、川岸に「オオハンゴンソウ」が繁殖しており、あれは駆除しなければならないのでは、という話になりました。ご存じの方も多いと思いますが、この植物は特定外来生物に指定されており、滝沢市でも駆除に協力することをお願いしています。ただ駆除の仕方は意外と面倒で、時期としてはできれば種ができる9月以前で、方法は根から全体を抜き取るのとこと、更には抜き取ったものは生きたまま移動すると法律違反になるので、その場で枯死させてから燃えるごみとして処分しなければならないとのことでした。そこで、草刈り隊の方をお願いしようかとも思いましたが、外谷さんのご逝去によりメンバーが少なくなったことに加え、代表者の大鷲さんも大怪我をされた後でしたので、今回は状況をお伝えすることのみとし、来年に対応していただくようお話ししたところ、その数日後に同会7班の束稲弘さんが一人で駆除してくださっておりました。大変ありがとうございました。



植物のお話をもう一つ。皆さん「秋の七草」はご存じでしょうか？ 時期としては秋分の日を中心として前後3日間ということですので、この号が発行される頃はもう過ぎておりますが、先日、車中でラジオを聞いておりましたら秋の七草の覚え方を話していました。幾つかあるうちのひとつをご紹介しますと、「お好きな服は」と覚えると良いとのこと、その内容は以下のとおりでした。

お・オミナエシ(女郎花)
す・ススキ(尾花・ススキの別名)
き・キキョウ(桔梗)
な・ナデシコ(撫子)
ふ・フジバカマ(藤袴)
く・クズ(葛)
は・ハギ(萩)

こうして見てみると、葛を除いて一般的に食べられる植物ではないことがわかりました。かねてから春の七草に比べて秋の七草はなぜ知名度が低いのだろうと思っており、「春の七草は食べられるからその名前が浸透していて、秋のそれは食べられないから興味が湧かなくて認識されていないのでは？」と邪推しておりました。実際、春の七草は毎年スーパーの「七草がゆセット」を購入して、母が七草がゆを作ってくれていましたが、秋のそれは食べたことは

おろか、スーパーで見かけたことすらありませんでした。そこで調べてみるとやはり「秋の七草は観賞用で…」とありました。邪推もあながち間違っていなかったのかもしれませんが。

季節は変わり、「山粧(よそお)う」時期となってまいりました。里の草紅葉も見受けられ、山の紅葉も始まりつつあります。秋の行楽シーズン真っ只中でもありますので、皆さんお出かけされてみてはいかがでしょうか。「お好きな服」を着て。

「敬老感謝の集い」を開催しました

9月13日（日）に「敬老感謝の集い」を開催しました。この集いを担当された福祉・育成・健康増進部の方々からご寄稿いただきましたのでご紹介いたします。



始めに集合写真を撮影

【福祉・育成・健康増進部長】

7班 佐々木 雅子さん

今年度の「敬老感謝の集い」に16名の方が出席して下さいました。昨年度と同様の内容でと思いましたが、昨今の物価高により予算オーバーとなり、工夫次第だったかと反省しました。前日の会場準備には、男性の方々に協力して頂きありがとうございました。

南牧野林自治会についてスターが誕生しました。当日10班の遠藤貞造様が「相撲甚句」と「祝い唄」を披露して下さい、参加された方は手拍子と共に

一緒に口ずさみ、満面の笑みで朗々としたうたを楽しんでいました。歓談中も副部長さんや理事の方々が会話を盛り上げて頂き、楽しく過ごすことができました。色々とハプニングもありましたが、皆様ご協力ありがとうございました。無事終了しホッとしております。



【福祉・育成・健康増進部 副部長】

2班 酒井 和則さん

初めて運営への参加で、皆さまのテキパキと働かれる姿に感心しながら、足手まといと、お役に立てたか心配しております。

出席された方々の満足そうなお姿を拝見し、もっと多くの参加があればと感じました。



皆様でご歓談。波紫副会長から皆さんへお祝いをお渡ししました。



総務部副部長 今野 治

【福祉・育成・健康増進部 部員】10班 遠藤 貞造さん

私は介護の為に班の福祉部員としてあまり役に立てる状況にありませんでした。しかし、先頭に立っている佐々木部長さんが一所懸命動いている姿を見て、班の福祉部員として、やれること

をやろうと心に決めて、前日の会場準備、当日の準備をやりました。また、当日、長寿者の方々の姿を見て、楽しい会にする為には歌で盛り上げるしか無いと思い2曲ほど歌いました。長寿者の方々が喜んでいる姿を見て安心しました。

この地区も高齢者が増加しており、地区の役員や班員になったとしても動けない方もおりますが、地区の発展の為には、与えられた班の役員の仕事をやり遂げる責任があることを、改めて感じさせられた長寿会でした。



遠藤貞造さん

「角掛神社例大祭」に参列して参りました



本殿

元村地区自治会連合協議会さんからご案内があり、9月13日(日)12時30分より「角掛神社例大祭」に参列して参りました。

角掛神社は湯舟沢にありますが、滝沢市のサイトには「明治三年には大釜の八幡宮・篠木の田村神社・大沢の熊野神社・鵜飼の駒形神社・滝沢の角掛神社がそれぞれ村社に決定された」と記述されています。そして、氏神様とは元々は同じ地域に住む氏姓を同じくする人たちが祀る神様だったそうですが、現在は自分が住んでいる地域全体の神様となっているようですので、元村地区自治会

連合会に所属する本自治会にとっては氏神様ということになると思います。

例大祭は本殿で神事を経読みして、そのあと社務所で直礼(直会)を行いました。実はこの日は本自治会の「敬老感謝の集い」を開催しておりましたが、こちらの例大祭参列のため「集い」は挨拶だけをして退席とさせていただきました。神事により「集い」に参加された皆様のご長寿が成就されれば幸いです。

ところで、こちらの神社へ参詣するのは初めてでしたので、直会のあと少し境内を散策してみました。すると角掛神社の由緒が記述された看板が目につきました。それによると祭神は歴史書によく登場する、皆さんご存じ征夷大將軍、坂上田村麻呂その人でした。看板には「神社の生い立ちと由来」、「角掛神社の遷座(神仏の座を他の場所に移すこと)」が解説されていましたが、「由来」については角掛神社と呼ばれることになった出来事が記述されていました。「遷座」については「(前略)神仏混淆厳禁と一村一社制により、明治三年村内中央に遷座すべきと旨を承け、一本木よりこの大明神森に移され、大字滝沢村民の氏神として崇敬されている」とありました。続けて「旧滝沢村は、元村から北は一本木迄の地域であった。(中略)明治二十二年滝沢村、鵜飼村、大沢村、篠木村、大釜村の五村が合併し現在の滝沢村が誕生した」とありました。

数日後、この原稿を書くために看板を読み直してハッとしました。本紙第83号で「元村の由来、経緯は？」と書きましたが、下線を付けた部分、「旧滝沢村は、元村から北は一本木迄の地域であった」ということは、「元村」とは鵜飼、大沢、篠木、大釜以外、つまり滝沢村における大字滝沢のことで、同号に書いた「5つの大字の中で最広の区域が滝沢だったため、明治22年町村制実施にあたり滝沢村とした」ということから考えると、「元村」とは「旧滝沢村」のことを指し、「元村」の「元」という字は漢字辞典によると「根源・はじめ・第一」等の意味があるため、簡単に言えば、「滝沢村の元となった村だから元村」で、合併後もその経緯を含めた地域名として「元村」と称しているのではないかと推察いたしました。しかしながら全くの見当違いでありましたら、各方面の方々、ならびに各自治会の皆様への失礼の段、何卒ご容赦ください。

拙い文章でしたが、角掛神社に興味を湧いてもらえたら一度参詣されることをお勧めいたします。思わぬ発見があるかもしれません。また、滝沢市指定天然記念物である「五龍のフジ」も是非ご鑑賞ください。



9月の出来事 10月の予定

9月の出来事

1日	・広報等配付・自治会だより第83号発行
5日	・「第2回文教部会」16:00～ 自治会館（「芋煮会」の開催について）
6日	・「秋の環境美化週間一斉清掃（草刈り）」6:00～ （環境部他）
12日	・「敬老感謝の集い」前日準備 15:00～ 自治会館 （福祉・育成・健康増進部他） ・「第3回理事会」 18:00～ 自治会館
13日	・「敬老感謝の集い」11:30～ 自治会館 （福祉・育成・健康増進部他） ・「角掛神社例大祭」12:30～ 角掛神社本殿 （会長）
14日	・広報等仕分け作業および班長への配付
26日	・滝沢市立滝沢中央小学校「運動会」8:40 滝沢市立滝沢中央小学校校庭 （会長）
27日	・「第5回滝沢ふるさと交流館地域秋まつり」9:00～ふるさと交流館（会長・波紫副会長）
30日	・広報等仕分け作業および班長への配付

10月の予定

1日	・広報等配付・自治会だより第84号発行 ・「赤い羽根共同募金運動」開始
14日	・広報等仕分け作業および班長への配付
17日	・令和8年度「第1回単位自治会役員研修会」10:00～ ふるさと交流館 （会長）
18日	・「滝沢市総合防災訓練（防災無線の通信訓練）」8:00～ 自治会事務所（渡辺部長・会長） ・「第4回資源回収」8:00～（環境部他）
19日	・介護予防教室「終活に関するセミナー」10:00～ 自治会館
30日	・広報等仕分け作業および班長への配付

南牧野林文芸

俳句

無骨さを誇りて並ぶラフランス
サンマ喰ぶ腹の苦みに父の声
濃く淡く野紺菊咲く高架沿い

短歌

敬老の催し楽しありがとうこの優しさに勝るものなし
一年生学校からの帰り道いちご桑の実道草楽し
青い鳥ただひたすらに探してた夢みる乙女十二の私

小中高合唱コンの声清し

恥知らず明るいニュースかき消して



元乙女

泡沫

枯木花子



南牧野林文芸では皆様からの投稿を募集しております。毎月23日までに自治会館右側の事務所ポストへご投函ください。